

テーマ：救い主の誕生地である“ベツレヘム”が私たちに教えてくれることとは？

○“ベツレヘム”が明らかにするクリスマスの真実：二つの事実

1. 神様は並ぶ者のないほど _____ (2a)

▶「最も小さいもの」

※1 サムエル記 9:21

「サウルは答えて言った。「私はイスラエルの部族のうちの最も小さいベニヤミン人ではありませんか。私の家族は、ベニヤミンの部族のどの家族よりも、つまらないものではありませんか。…」

※詩篇 119:141

「私はつまらない者で、さげすまれています。…」

●ミカ書全体：大きな流れの中の“ベツレヘム”

※ミカ 1:1

「ユダの王ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代に、モレシエテ人ミカにあった主のことば。これは彼がサマリヤとエルサレムについて見た幻である。」

※ミカ 1:2-4

「すべての国々の民よ。聞け。地と、それに満ちるものよ。耳を傾けよ。神である主は、あなたがたのうちで証人となり、主はその聖なる宮から来て証人となる。見よ。主は御住まいを出、降りて来て、地の高い所を踏まれる。山々は主の足もとに溶け去り、谷々は裂ける。ちょうど、火の前の、ろうのように。坂に注がれた水のように。」

※ミカ 1:5a

「これはみな、ヤコブのそむきの罪のため、イスラエルの家の罪のためだ。」

※ミカ 1:10-11

「ガテで告げるな。激しく泣きわめくな。ベテ・レアフラでちりの中にくろび回れ。シャフィルに住む者よ。裸で恥じながら過ぎて行け。ツァアナンに住む者は出て来ない。ベテ・エツェルの嘆きは、あなたがたから、立つ所を奪い取る。」

※ミカ 2:1-3

「ああ。悪巧みを計り、寝床の上で悪を行う者。朝の光とともに、彼らはこれを実行する。自分たちの手に力があるからだ。彼らは畑を欲しがって、これをかすめ、家々をも取り上げる。彼らは人とその持ち家を、人とその相続地をゆすり取る。それゆえ、主はこう仰せられる。「見よ。わたしは、こういうやからに、わざわいを下そうと考えている。あなたがたは首をもたげること、いばって歩くこともできなくなる。それはわざわいの時だからだ。…」

※ミカ 3:1-4

「わたしは言った。聞け。ヤコブのかしらたち、イスラエルの家の首領たち。あなたがたは公義を知っているはずではないか。あなたがたは善を憎み、悪を愛し、人々の皮をはぎ、その骨から肉をそぎ取り、わたしの民の肉を食らい、皮をはぎ取り、その骨を粉々に砕き、鉢の中にあるように、また大がまの中の肉切れのように、切れ切れに裂く。それで、彼らが主に叫んでも、主は彼らに答えない。その時、主は彼らから顔を隠される。彼らの行いが悪いからだ。」

※ミカ 4:1-3

「終わりの日に、主の家の山は、山々の頂に堅く立ち、丘々よりもそびえ立ち、国々の民はそこに流れて来る。多くの異邦の民が来て言う。「さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を、私たちに教えてくださる。私たちはその小道を歩もう。」それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから主のことばが出るからだ。主は多くの国々の民の間をさばき、遠く離れた強い国々に、判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。」

※詩篇 86:8-11

「主よ。神々のうちで、あなたに並ぶ者はなく、あなたのみわざに比ぶべきものはありません。主よ。あなたが造られたすべての国々はあなたの御前に来て、伏し拝み、あなたの御名をあがめましょう。まことに、あなたは大いなる方、奇しいわざを行われる方です。あなただけが神です。主よ。あなたの道を私に教えてください。私はあなたの真理のうちを歩みます。私の心を一つにしてください。御名を恐れるように。」

2. キリストは並ぶ者のないほど_____ (2b)

※ヨハネ 4:34

「わたしを遣わした方のみこころを行い、そのみわざを成し遂げることが、わたしの食物です。」

※ヨハネ 6:38

「わたしが天から下って来たのは、自分のこころを行うためではなく、わたしを遣わした方のみこころを行うためです。」

※コロサイ 1:17

「御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。」

※ヨハネ 1:1-2

「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。」